

発売元



北海道ホンダ販売株式会社

〒062-0051 北海道札幌市豊平区月寒東1条17丁目5番20号  
本 社 TEL 011-856-5000 FAX 011-856-6060

製造元



和同産業株式会社



JQA-QM5922  
本社・工場



JQA-EM3683  
本社・工場



CM009

この登録マークは製品またはサービス  
そのものを保証するものではありません。

本 社 〒025-0035 岩手県花巻市実相寺410番地  
TEL 0198-24-3221 FAX 0198-41-1221

お客様メモ

購入日 平成 年 月 日

購入店名

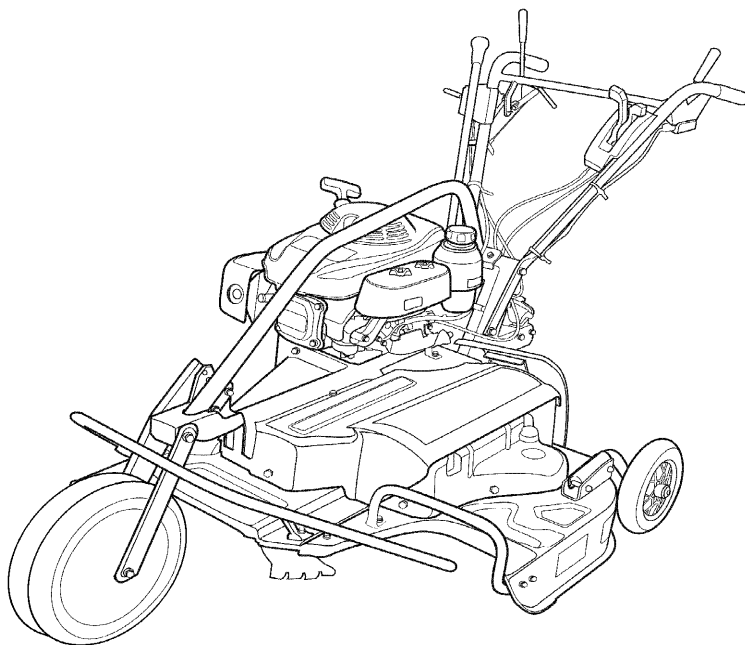
91901-M75-031

# 取扱説明書

ローリングモア

あぜみち

JA-860HST



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本  
取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、  
事故を引き起こすおそれがあります。  
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。



JA-860HST あぜみち を  
お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

●この取扱説明書は、JA-860HST あぜみち の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用下さい。

●お読みになった後も、必ず製品に近接して保存して下さい。

●製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡し下さい。

●この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げいただいた販売店または、お近くの当社支店、営業所にご注文下さい。

●なお、品質・性能・取扱性向上のため、使用部品の変更を行うことがありますので、ご了承下さい。

●ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただいた販売店、またはお近くの当社支店、営業所にご相談下さい。

● 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

 **危険** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

その他の表示として

**重要** 指示に従わないと、本機やその他の物が損傷する可能性があるものを示します。

# もくじ

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 安全に作業するために           | 1   |
| ・ 一般的な注意項目           | 1   |
| ・ 作業前後の確認時の注意項目      | 3   |
| ・ 輸送時の注意項目           | 6   |
| ・ 移動 ・ 作業時の注意項目      | 8   |
| ・ 作業終了後 ・ 格納時の注意項目   | 1 2 |
| サービスと保証について          | 1 3 |
| 本製品の使用目的について         | 1 3 |
| 1 . 警告ラベルの貼付位置       | 1 4 |
| 2 . 各部のなまえ           | 1 5 |
| 3 . 操作レバー関係の取扱い要領    | 1 6 |
| 4 . 運転前の準備 ・ 点検      | 2 1 |
| 5 . エンジンの始動 ・ 停止のしかた | 2 4 |
| 6 . 運転操作のしかた         | 2 6 |
| 7 . 草刈機のとめかた         | 3 1 |
| 8 . 定期点検             | 3 2 |
| 9 . 点検 ・ 整備          | 3 3 |
| 1 0 . 長時間使用しない時の手入れ  | 3 6 |
| 1 1 . 車への積載の場合       | 3 7 |
| 1 2 . 故障のときは         | 3 7 |
| 1 3 . 主要諸元           | 3 8 |
| 1 4 . 標準付属品および主要消耗品  | 3 9 |

# 安全に作業するために

ここに記載されている注意事項を守らないと、  
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

## ●一般的な注意項目



**注意**

### 「取扱説明書」をよく読んで

本機を使用する前に、必ず「取扱説明書」をよく読んで、十分理解してから使用してください。  
取扱説明書に記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故、機械の破損等  
が生じるおそれがあります。



**警告**

### こんなときは運転しない

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき
- 酒を飲んだとき
- 妊娠しているとき
- 18歳未満の人



**警告**

### すべりにくい靴・手袋などの作業に適した服装を心掛けてください

はち巻き、首巻き、えり巻き、腰タオルは禁止です。

ヘルメット、保護メガネ、すべり止めの付いた長靴、手袋を着用し作業しやすいだぶつきのな  
い服装をしてください。

#### 【守らないと】

機械に巻き込まれたり、すべって転倒し、ケガをするおそれがあります。



**警告**

### 長時間作業時は休憩をとる

約2時間作業したときは、10分程度の休憩をとり、心身ともにリフレッシュしてください。

#### 【守らないと】

事故、ケガをまねくおそれがあります。



警告

### 草刈り以外の作業は絶対禁止

本機は草刈機です。草刈り目的以外の使用は絶対しないでください。

#### 【守らないと】

機械の故障、事故、ケガをまねくおそれがあります。



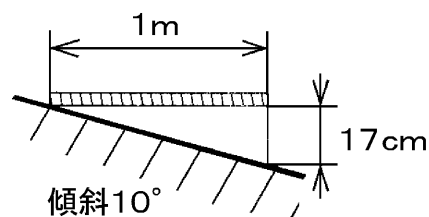
警告

### 傾斜10° を越える斜面では本機を使用しない

草刈り作業は平坦な場所で行い、傾斜10° を超える斜面では本機を使用しないで下さい。

#### 【守らないと】

転倒するおそれがあります。



警告

### 機械を他の人に貸すときは

取扱い方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

#### 【守らないと】

説明不足により死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねくおそれがあります。



警告

### 機械の改造禁止

改造をしないでください。

#### 【守らないと】

機械の故障、事故、ケガをまねくおそれがあります。



警告

### 機械の中に手を入れない

カバーの中には回転部や可動部があり、むやみに手などを入れると大変危険です。やむをえないときは必ずエンジンを停止してから行ってください。

#### 【守らないと】

回転物などに巻き込まれ、傷害事故をまねくおそれがあります。

## ●作業前後の確認時の注意項目



**危険**

### 注油・給油・点検はエンジンが冷めてから行う

エンジンの回転中や、エンジンが熱い間は、絶対に注油・給油・点検をしないでください。

**【守らないと】**

燃料などに引火し、火災の原因となることがあります。



**危険**

### 燃料補給時火気厳禁

燃料補給時は、くわえ煙草や裸火照明など火気厳禁です。

**【守らないと】**

燃料に引火し、火災をおこすおそれがあります。



**危険**

### 機械の下にもぐったり、足を入れない

機械の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。

**【守らないと】**

何かの原因で機械が動いたときに、傷害事故をおこすおそれがあります。



**警告**

### 排気ガスには十分に注意

しめきった屋内などではエンジンを始動しないでください。エンジンは風通しのよい屋外で始動してください。やむをえず屋内で始動する場合は、十分に換気してください。

**【守らないと】**

排気ガスによる中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。



**警告**

### 燃料もれに注意する

燃料パイプが破損していると、燃料もれをおこしますので必ず点検してください。

**【守らないと】**

火災事故を引き起こすことがあります。



**警告**

### 燃料タンクキャップをしめ、こぼれた燃料は拭き取る

燃料を補給したときは、燃料タンクキャップを確実にしめ、こぼれた燃料はきれいに拭き取ってください。

**【守らないと】**

火災事故を引き起こす原因になります。



**警告**

### 刈取りする地域の異物はあらかじめ取り除く

あらかじめ刈取りする地域の木片・ビニール・ビン・カン・ホース・ナワ・布切れ・およびその他の異物をすべて取り除いてください。

**【守らないと】**

刈取り作業中に取り込んだ異物などが飛び出し、思わぬ傷害事故をまねくおそれがあります。



**警告**

### マフラー・エンジンのゴミは取り除く

マフラーやエンジン周辺部にゴミや燃料など付着していないか作業前に点検し、付着していれば取り除いてください。

**【守らないと】**

火災事故やオーバーヒートを引き起こすおそれがあります。



**警告**

### 点検整備は平坦で安定した場所で行う

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で点検整備をしてください。

**【守らないと】**

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。



**警告**

### 電気部品・コードは必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎作業前に点検してください。

**【守らないと】**

ショートして、火傷や火災事故の原因となります。



**警告**

### 作業前には必ず安全装置を確認する

作業前に安全装置の取扱いと、適切に働くかを確認してください。

#### 【守らないと】

安全装置が作動せず、死亡事故や重大な事故をまねくおそれがあります。



**警告**

### 作業前には必ず刈刃の締付け状態を確認する

作業前に刈刃の締付け状態を確認してください。また、刈刃締付ボルト等が摩耗していたら交換してください。

#### 【守らないと】

刈刃が外れて飛び出し、死亡事故や重大な事故をまねくおそれがあります。



**注意**

### 作業前・後は必ず機械の点検をする

使用の前と後には必ず機械の点検をしてください。特にクラッチ・レバーなどの操縦装置は確実に作動することを確認してください。

#### 【守らないと】

整備不良による事故や機械の故障を生じるおそれがあります。



**注意**

### カバーやラベル類は必ず取り付ける

点検・整備などで取り外したカバー類は、必ず取り付け、ラベル類が損傷した場合は直ちに貼り替えてください。

#### 【守らないと】

機械に巻き込まれたりして、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



**注意**

### 機械の点検整備・清掃などをするときはエンジンを停止する

#### 【守らないと】

思わぬ傷害事故の原因となります。



注意

### 点検整備は高温部が十分冷めてから

マフラーやエンジンなどの高温部が十分冷めてから点検整備をしてください。

#### 【守らないと】

火傷をするおそれがあります。

## ●輸送時の注意項目



警告

### トラックへの積み込み・積み降ろしは、長さ・強度・幅の十分あるアユミ板を使用する

アユミ板は丈夫ですべり止めのある、基準にあったものを使ってください。

#### 【守らないと】

アユミ板が折れたりして転倒し、傷害事故を起こすことがあります。

#### ＜アユミ板の基準＞

強度：機体の重量に十分耐えるもの

幅：タイヤ幅の1.2倍以上

長さ：荷台の高さの4倍以上

：すべり止めのあるもの

：フックのあるもの



警告

### アユミ板は確実に固定する

積み込み・積み降ろしをするトラックの荷台からズレたり、外れたりしないように確実にアユミ板を固定してください。

#### 【守らないと】

転落などの事故をまねくおそれがあります。



警告

### トラックへの積み込み・積み降ろしは、平坦な場所で行い、トラックには必ず車止めを

積み込み・積み降ろしは平坦で交通の安全な場所で行い、積み込むトラックのエンジンを止め、変速は「P」または「1」・「R」位置に入れ、駐車ブレーキをかけて車止めをしてください。

#### 【守らないと】

トラックが動いて転落事故などをまねくおそれがあります。



警告

### 積み込み・積み降ろし作業は、誘導者をつけて

トラックへの積み込み・積み降ろし作業は、誘導者をつけて、周囲の安全を十分確認してください。

#### 【守らないと】

転落などの事故をまねくおそれがあります。



警告

### 誘導者は機械の近くには絶対立たない

トラックへの積み込み・積み降ろし作業の誘導者は機械の近くには絶対立たないでください。

#### 【守らないと】

思わぬ傷害事故の原因となることがあります。



警告

### 積み込み・積み降ろし作業は前進で行う

トラックへの積み込み・積み降ろし作業は、必ず前進でゆっくりと慎重に行ってください。

#### 【守らないと】

転落などの事故をまねくおそれがあります。



警告

### ロープでトラックに確実に固定し、トラックは安全運転をする

トラックにのせて移動するときは、強度の十分あるロープでトラックに機械を確実に固定し、トラックの運転は急発進・急ブレーキ・急ハンドルなどをさけ、安全運転をしてください。

#### 【守らないと】

荷台から機械が転落したり、事故をまねくおそれがあります。



警告

### アユミ板の上ではクラッチレバーの操作厳禁

トラックへの積み込み・積み降ろしは、アユミ板の上で進路変更をすることがないように進路を定めて低速で行ってください。走行クラッチレバー、変速レバーの操作はしないでください。

#### 【守らないと】

転落などの事故をまねくおそれがあります。



注意

積み込み・積み降ろし作業は、刈取クラッチレバーを必ず「切」位置にして行う

トラックへの積み込み・積み降ろしのときは、刈取クラッチレバーを必ず「切」位置にして行ってください。

【守らないと】

傷害事故をまねくおそれがあります。

### ●移動・作業時の注意項目



危険

詰まった草や異物を取り除くときは必ずエンジン停止

刈取部に草や異物が詰まった場合には、必ずエンジンを停止し、各動作部が完全に止まっていることを確認してから、取り除いてください。

【守らないと】

衣服が巻き込まれたり、傷害事故や機械の破損をまねくおそれがあります。



警告

エンジン始動時は周囲の安全を確認し、走行クラッチレバー・刈取クラッチレバーを「切」位置にし、変速レバーを「低」位置にする

【守らないと】

機械が急発進してケガをするおそれがあります。



警告

草刈り作業中は機械のまわりに人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

思わぬ傷害事故の原因となることがあります。



警告

### 坂道は走行注意

急な坂道は走行しないでください。

やむをえず坂道を走行する場合は、転倒やスリップに気を付け、最低速度でゆっくり移動してください。

【守らないと】

機械の横転、暴走など思わぬ事故を引き起こす原因になります。



警告

### 坂道では駐車禁止

【守らないと】

機械が動き出し、事故の原因となります。



警告

### わき見運転や手放し運転禁止

【守らないと】

傷害事故の原因となります。



警告

### 凍結路は十分注意し低速で

凍結した滑りやすい路面ではなるべく作業しないでください。やむを得ない場合は、十分注意し低速で行ってください。

【守らないと】

転倒事故などの原因になります。



警告

### 機械から離れるときは平坦地に置きエンジンを止める

機械から離れるときは、平坦で安定した場所に置き、エンジンを止めてください。

【守らないと】

機械が動きだし、事故の原因となります。



**警告**

### 夜間や、視界の悪いときには運転しない

**【守らないと】**

視界不良により事故などの原因となります。



**警告**

### 刈刃が回転中は危険、近づき禁止

刈刃が回転中は刈取部付近に近づかないでください。周囲の安全を確かめてから刈取クラッチレバーを操作してください。

**【守らないと】**

刈刃に巻き込まれて傷害事故の原因となります。



**警告**

### 急発進・急旋回・急停止やスピードの出しすぎ禁止

発進・停止はゆっくり行ってください。旋回するときは十分速度を落としてください。また、坂道や凸凹道やカーブの多い場所では十分速度を落としてください。

**【守らないと】**

機械の破損、事故の原因となることがあります。



**警告**

### 機械の異常に気付いたらすぐにエンジン停止

異物が当たったり、巻き付いたり、異常振動、異音、異臭などに気付いたら、すみやかにエンジンを停止し、高温部が冷めてから点検してください。

**【守らないと】**

機械の故障、事故、ケガをまねくおそれがあります。



**警告**

### 回転部に手・足・顔を近づけない

回転している部分をのぞき込んだり、手・足・顔を絶対に近づけないでください。

**【守らないと】**

巻き込まれたり、飛散物などにより思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。



**警告**

### 燃えているゴミの上やその近くは走行禁止

【守らないと】

燃料やオイルなどに引火して、火災になるおそれがあります。



**注意**

### 移動時は路肩に注意

溝のある場所や傾斜している場所では、路肩に十分に注意してください。

【守らないと】

転落事故を引き起こすおそれがあります。



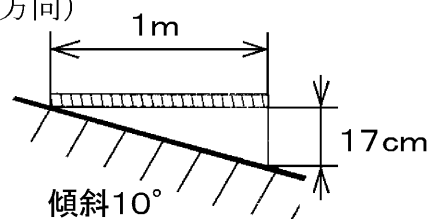
**警告**

### 傾斜面の作業に注意

斜面での草刈り作業は上下方向ではなく、横方向（等高線方向）に行ってください。また、 $10^\circ$ 以上の過度な斜面では草刈機を使用しないでください。

【守らないと】

転倒・転落事故をまねくおそれがあります。



**注意**

### 周囲の安全を確かめ低速で発進する

急発進や急旋回をしないで周囲の安全を確認してゆっくりと発進してください。

【守らないと】

思わぬ事故をまねくおそれがあります。



**注意**

### 移動時には刈取クラッチレバーを必ず「切」位置にする

【守らないと】

思わぬ傷害事故をまねくおそれがあります。



**注意**

### 刈刃への巻き込まれ注意

草刈り作業時以外は、刈取クラッチレバーを「入」の位置にしないでください。刈刃が回り危険です。

【守らないと】

巻き込まれて傷害事故の原因になることがあります。



注意

### 公道走行禁止

本機は小型特殊自動車型式認定の対象外のため、型式認定を受けることができません。したがって法令により公道を自走することができません。トラック等に載せて移動してください。

#### 【守らないと】

交通事故をまねくおそれがあります。

## ●作業終了後・格納時の注意項目



危険

### シートなどは機械が十分冷めてからかける

#### 【守らないと】

火災事故を引き起こすことがあります。



注意

### 機械の清掃・点検をするときはエンジンを停止する

#### 【守らないと】

機械に巻き込まれてケガをするおそれがあります。



注意

### 定期点検整備を受けてください

1年毎に定期点検整備を受け、各部の保守をしてください。特に、燃料パイプや電気配線は2年毎に交換してください。

#### 【守らないと】

整備不良による事故や、機械の故障を生じるおそれがあります。

重要

### 長期格納時は燃料を抜く

長期間使用しないで格納する場合は、燃料タンク・気化器の燃料を抜いてください。

#### 【守らないと】

燃料が変質してエンジンの不具合を起こしたり、故障の原因となることがあります。

# サービスと保証について

---

## 保証について

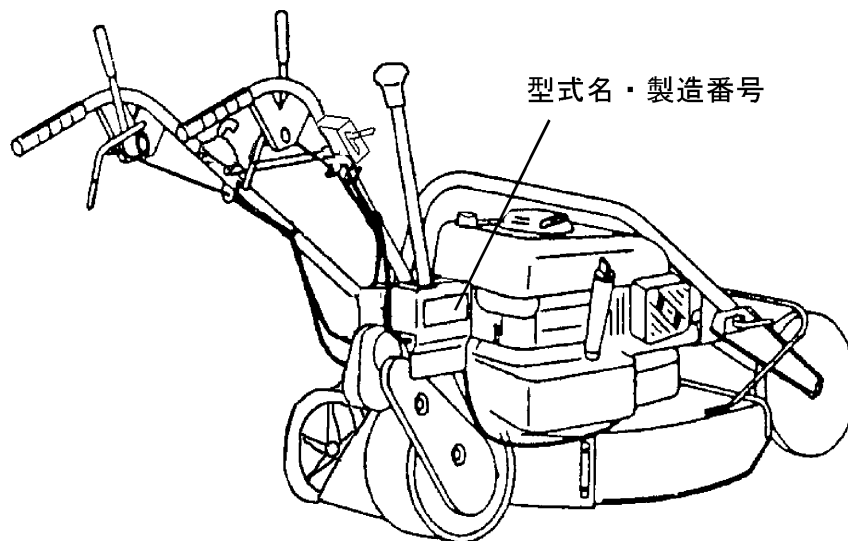
「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

## アフターサービスについて

機械の調子が悪いときは、お買い上げいただいた販売店、またはお近くの当社支店、営業所までご連絡ください。

その際には、以下の内容をご連絡ください。

- ・ご使用機の型式名と製造番号
- ・故障内容（できるだけ詳しく）



## 補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

---

## 本製品の使用目的について

---

本製品は水田の畦草刈取り作業にご使用ください。

使用目的外の作業や改造などは行わないでください。

使用目的外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

（詳細は保証書をご覧ください。）

# 1. 警告ラベルの貼付位置

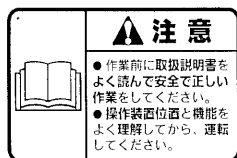
警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへの危険を知らせる大事な物です。

ラベルが損傷した場合はできるだけ早く貼り替えてください。

なお、注文の際には、この図に示す部品番号をお知らせください。

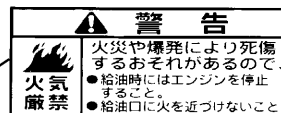
部品番号

91195-005



部品番号

87106-737-J00



部品番号

87593-V08-000



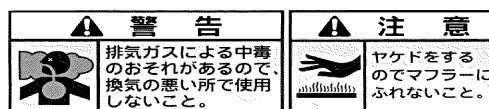
部品番号

87102-VE1-M90



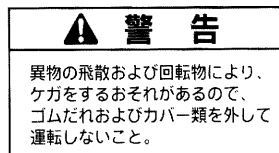
部品番号

87526-Z1V-000



部品番号

87104-VE8-701



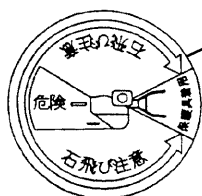
部品番号

87102-VE1-M90



部品番号

49903-M66-001



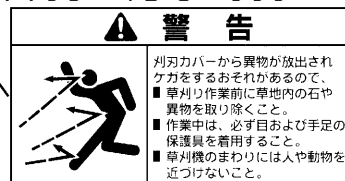
部品番号

49910-M75-000

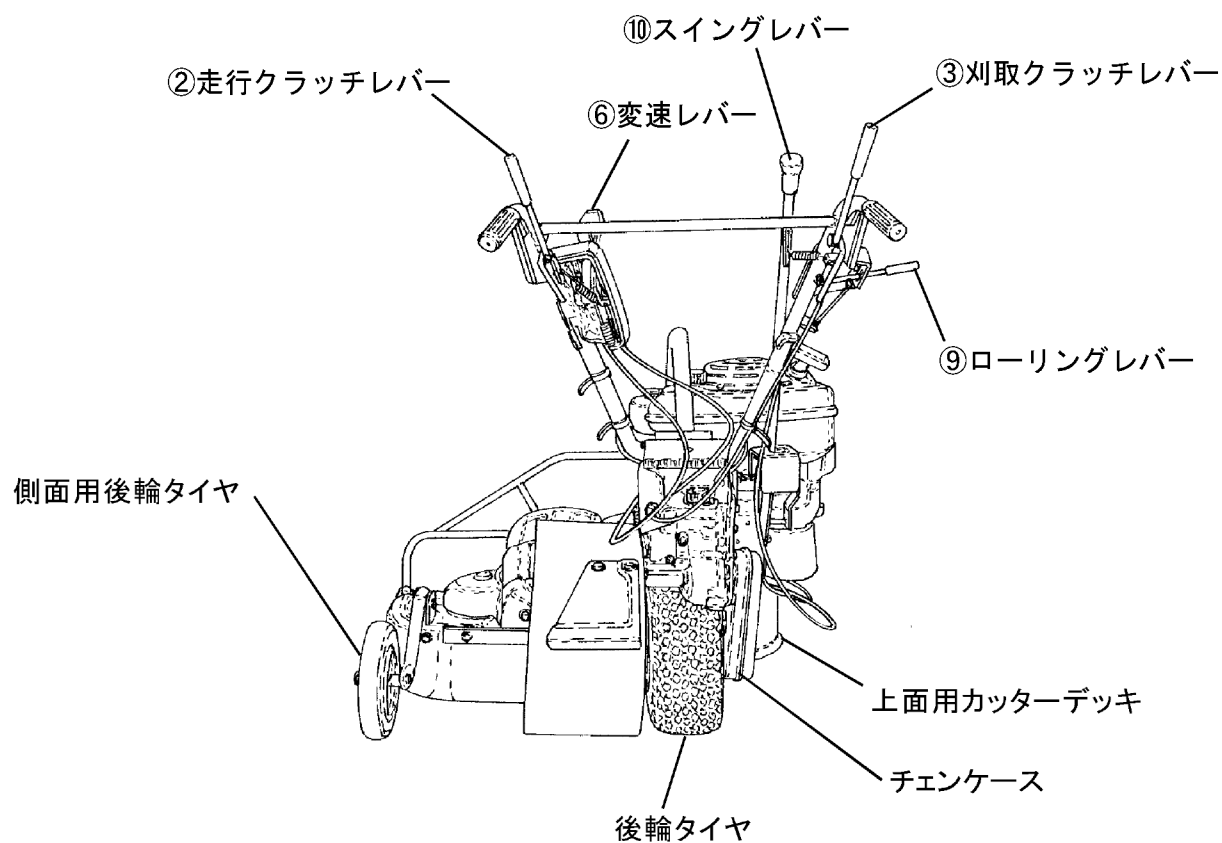
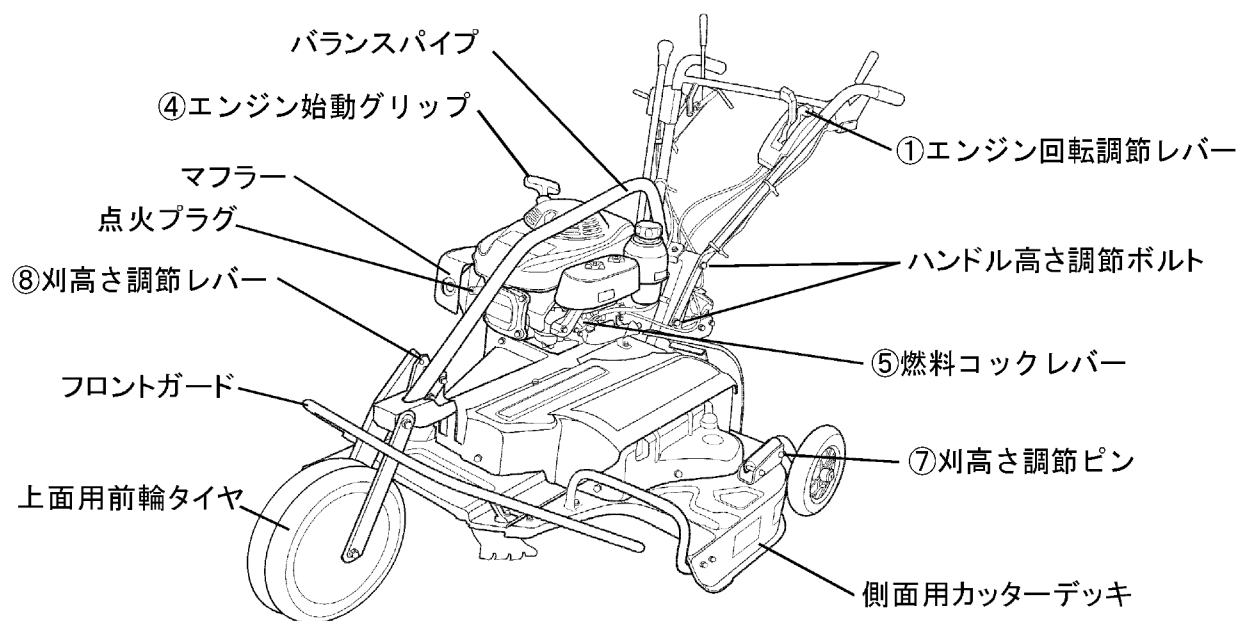
作業前、エンジンオイル・エアクリーナの点検をしてください。

部品番号

87103-VD8-600



## 2. 各部のなまえ



### 3. 操作レバー関係の取扱い要領

#### ①エンジン回転調節レバー

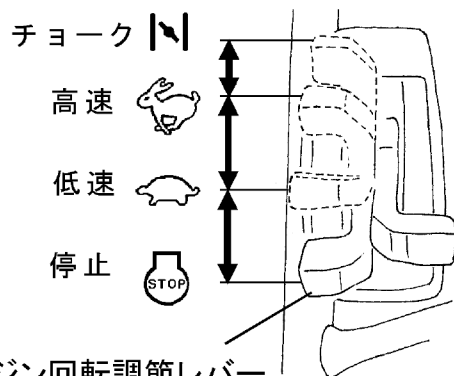
エンジン回転の調節を行うレバーです。エンジン始動時、運転中、停止時に操作します。

 - チョーク：始動時位置

 - 高 速：エンジン回転が上がる

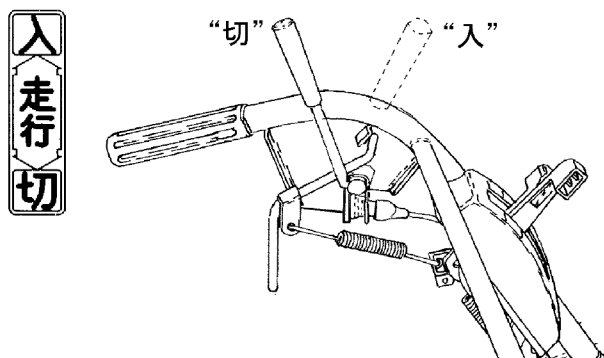
 - 低 速：エンジン回転が下がる

 - 停 止：エンジンが停止する



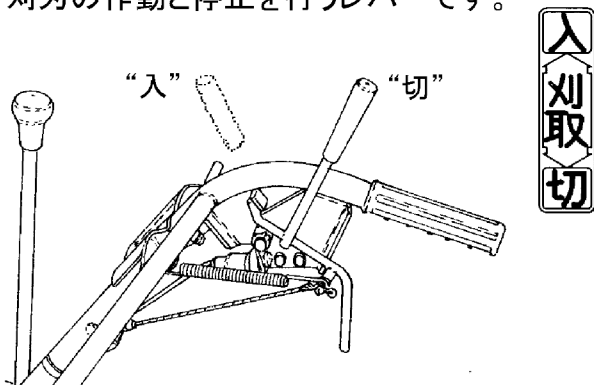
#### ②走行クラッチレバー

本機の走行と停止を行うレバーです。



#### ③刈取クラッチレバー

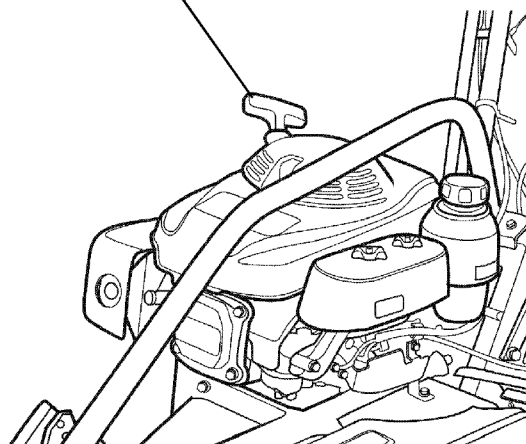
刈刃の作動と停止を行うレバーです。



#### ④エンジン始動グリップ

エンジンの始動を行うグリップです。

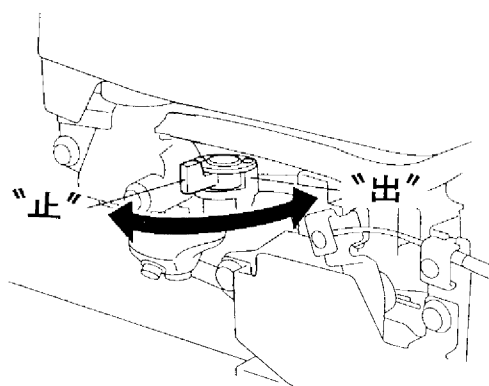
エンジン始動グリップ



#### ⑤燃料コックレバー

燃料タンクから気化器までの燃料通路を開閉する時に操作するレバーです。

操作は確実に“止”“出”の位置に合わせてください。



#### ⚠ 警告

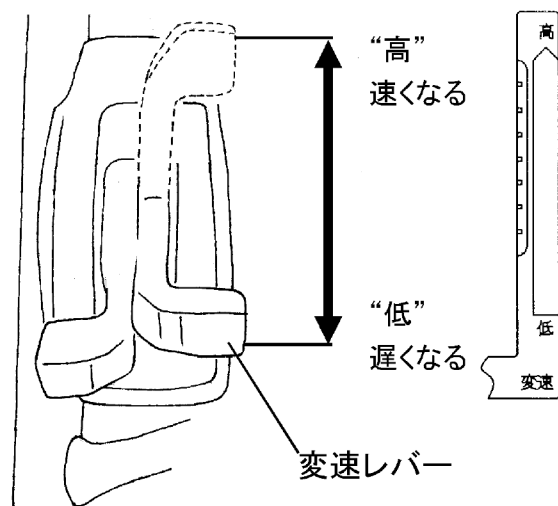
エンジン始動時は、刈取クラッチレバーと走行クラッチレバーを「切」位置にし、変速レバーを「低」位置にしてください。

#### 確認

本機には始動けん制装置があり、走行クラッチレバーと刈取クラッチレバーが“入”位置にあるとエンジンが始動しません

#### ⑥ 変速レバー

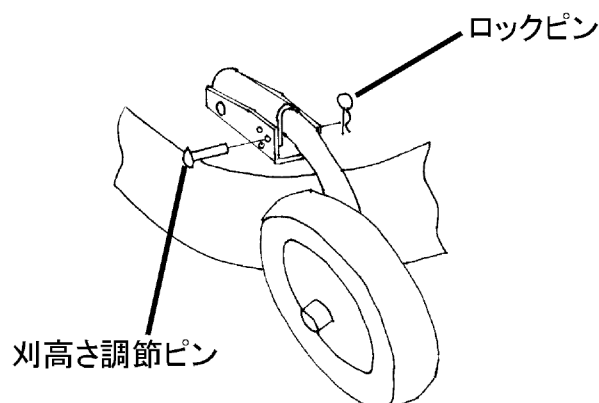
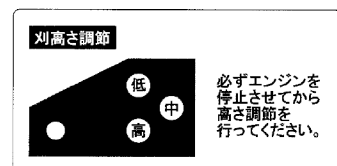
本機の前進車速を変えるレバーです。  
無段変速（細かいノッチが付いています）  
で、走行中の変速も可能です。



#### ⑦ 刈高さ調節ピン

側面用刈刃の刈取り高さを調節するときに操作するピンで、20・45・75 mm の3段階の調節ができます。

刈高さ調節ピンを任意の穴位置にセットし、調節後はロックピンを確実にセットしてください。



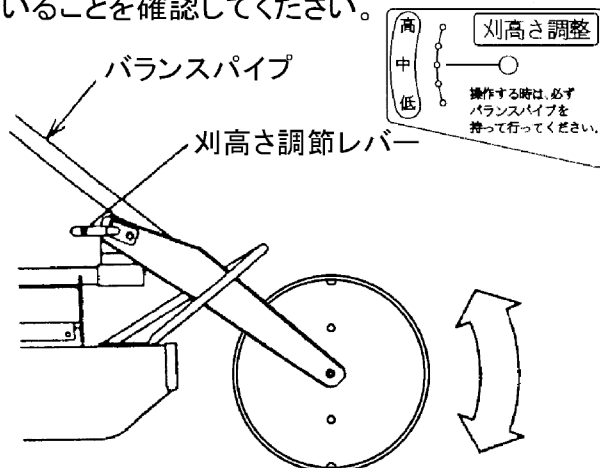
#### ⚠ 注意

・ 必ずエンジンを止めて調節を行ってください。

## ⑧刈高さ調節レバー

上面用刈刃の刈取り高さを調節するときに操作するレバーで、5・20・40・60・80mmの5段階の調節ができます。

バランスパイプを持ち上げ、刈高さ調節レバーを引っぱりながら任意の穴位置にセットします。調節後はレバーが確実にセットされていることを確認してください。



## ⚠ 注意

- ・必ずエンジンを止めて調節を行ってください。
- ・上面用前輪タイヤが地面についている状態で高さ調節を行うと、本機の重みで急に最下段まで下がり危険です。必ずバランスパイプを持ち上げてから行ってください。指がはさまれるおそれがあります。

## 刈取り高さの調節

本機は刈高さ調節レバーと刈高さ調節ピンで下表を目安にして刈取り高さを調節してください。

## 1) 一面刈り作業時の調節

刈高さ調節レバーで調節します。

(刈高さ調節ピンは“高”位置に固定)

| 刈取り高さ              | 目安高さ | 調節位置     |         |
|--------------------|------|----------|---------|
|                    |      | 刈高さ調節レバー | 刈高さ調節ピン |
| 高い<br>↑<br>↓<br>低い | 80mm | 高 (5)    | 高       |
|                    | 60mm | (4)      |         |
|                    | 40mm | 中 (3)    |         |
|                    | 20mm | (2)      |         |
|                    | 5mm  | 低 (1)    |         |

## 2) 二面刈り時の調節

## ●上面の刈取り高さ調節

刈高さ調節レバーで調節します。

| 刈取り高さ              | 目安高さ | 調節位置     |
|--------------------|------|----------|
|                    |      | 刈高さ調節レバー |
| 高い<br>↑<br>↓<br>低い | 80mm | 高 (5)    |
|                    | 60mm | (4)      |
|                    | 40mm | 中 (3)    |
|                    | 20mm | (2)      |
|                    | 5mm  | 低 (1)    |

## ●側面の刈取り高さ調節

刈高さ調節ピンで調節します。

| 刈取り高さ              | 目安高さ | 調節位置    |
|--------------------|------|---------|
|                    |      | 刈高さ調節ピン |
| 高い<br>↑<br>↓<br>低い | 75mm | 高       |
|                    | 45mm | 中       |
|                    | 20mm | 低       |

#### ⑨ ローリングレバー (20ページ参照)

刈取部を左右に傾斜（ローリング）させるときに操作するレバーです。

“入”

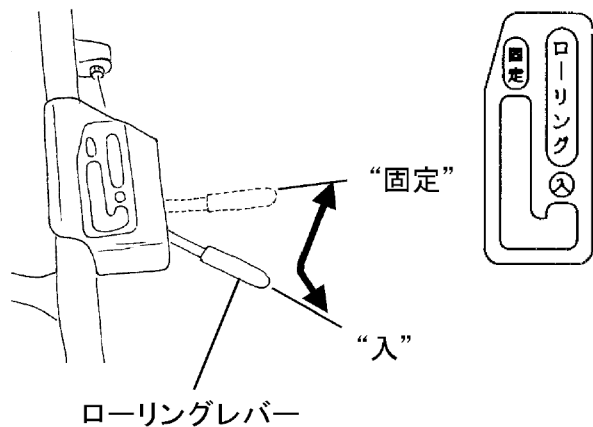
ローリングが作動します。

刈取部左端で水平面から上に $8^{\circ}$ ～下に $12^{\circ}$ の間でローリングします。

“固定”

刈取部が水平位置で固定します。

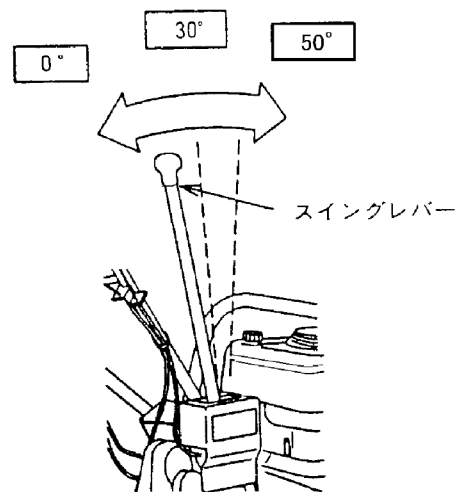
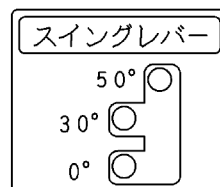
ハンドルを左右に軽く振って固定されていることを確認してください。



#### ⑩ スイングレバー (20ページ参照)

側面用カッターデッキを傾斜させるときに操作するレバーです。

|              |                                    |
|--------------|------------------------------------|
| $0^{\circ}$  | 水平固定                               |
| $30^{\circ}$ | $0^{\circ}$ ～ $30^{\circ}$ まで傾斜します |
| $50^{\circ}$ | $0^{\circ}$ ～ $50^{\circ}$ まで傾斜します |

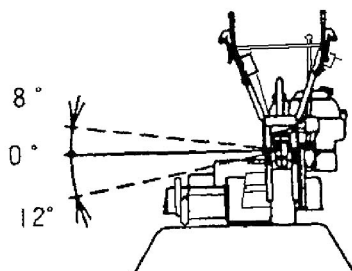


## ローリング機構とスイング機構

本機には刈取部全体を傾斜させるローリング機構と側面用カッターデッキを傾斜させるスイング機構が付いています。

### ローリング機構

- ・刈取り作業時(一面刈り時)、圃場の凹凸に刈取部が追従します。
- ・機体左右のバランスをとりながら走行できるので、本機の走行直進性がよくなります。
- ・ローリングレバーを“入”位置にすると自動的に刈取部全体が左右に傾斜(ローリング)します。
- ・刈取部左端で上に水平面(0°)から上に8°～下に12°の間でローリングします。

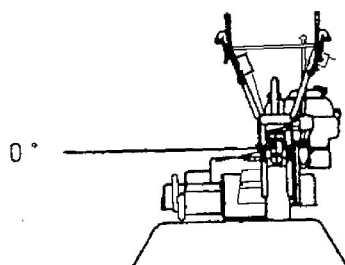


- ・ローリングレバーを“固定”位置にすると刈取部が水平位置で固定します。ハンドルを左右に軽く振って固定されていることを確認してください。

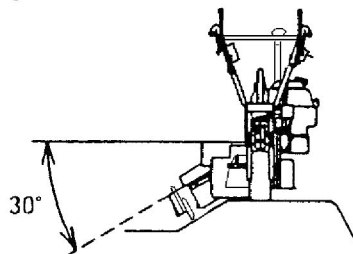
### スイング機構

- ・二面刈り作業時、スイングレバーを“30°”又は“50°”位置にすると側面用カッターデッキが傾斜(スイング)し、上面と側面の二面同時刈取り作業ができます。

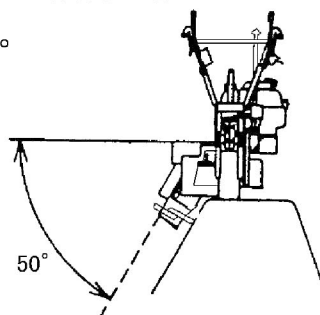
- 0° 側面用カッターデッキは水平固定  
上面作業(一面刈り作業)時  
本機移動時使用



- 30° 0°～30°間でスイング  
二面刈り作業時、側面が短い、  
または傾斜がゆるいところで使用しま  
す。

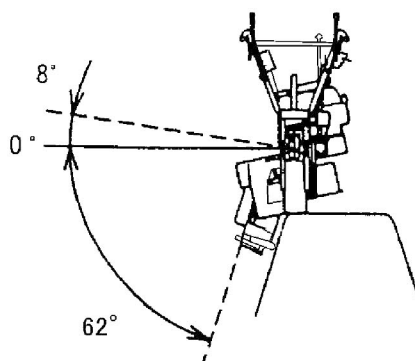


- 50° 0°～50°間でスイング  
二面刈り作業時、側面が長い  
または傾斜がきついところで使用しま  
す。



### ローリング機構とスイング機構の併用

- ・ローリング機構とスイング機構を併用すると、側面用カッターデッキは水平より上に8°～下に62°までの範囲で作動します。



### ⚠ 注意

- ・刈取り作業時は足もとに注意してハンドルをしっかりと持ち、転倒・転落に注意してください。

## 4. 運転前の準備・点検

快適で安全な作業をするためには、機械の状態をいつも最良にしておくことが大切です。運転前には、機械の始業点検を行ってください。

### ⚠ 警告

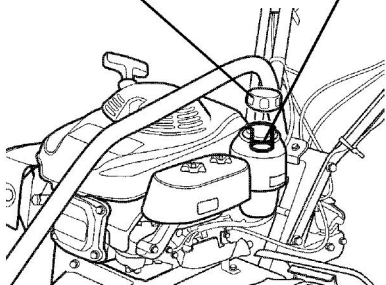
1. 点検・整備を行うときは、必ず平坦なところでエンジンを停止させて行ってください。
2. 燃料補給時は火気厳禁です。燃料補給後は燃料タンクキャップを確実に締め、燃料タンクや燃料パイプ等からの燃料もれがないか点検してください。  
守らないと火災事故の原因になります。
3. 燃料は給油口の口元まで入れず、所定の給油限界レベルまで補給してください。  
入れすぎると燃料が燃料タンクキャップからにじみ出ることがあり危険です。
4. 燃料はこぼさないように補給してください。万一こぼれたときは、布などで完全に拭き取り、火災、環境に注意し、処分してください。
5. エンジンが熱い間は、点検・整備等は絶対にしないでください。火傷をするおそれがあります。
6. 点検・整備が終わったら、外したカバー類は必ず元の場所へ取り付けてください。

### 燃料の点検

#### ●点検

燃料タンクキャップを外し、残量を確認します。  
少ないときは補給してください。

燃料タンクキャップ      給油限界レベル



#### ●補給

1. 燃料タンクキャップを外し、給油限界レベルまで補給します。
2. 補給後、燃料タンクキャップを確実に閉めてください。

### 重要

使用燃料 —— 無鉛ガソリン  
タンク容量 —— 1.8 リットル

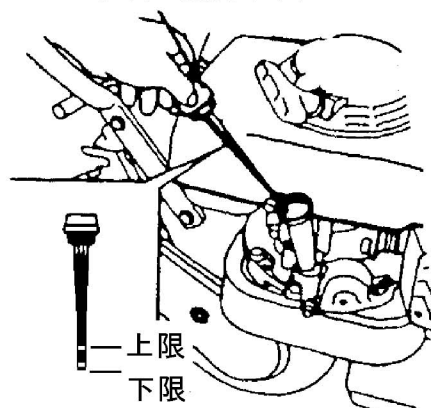
### エンジンオイルの点検

#### ●点検

- 1) エンジンが水平な状態にしてください。
- 2) オイル給油キャップを外してゲージ部のオイルを拭き取り、オイル給油キャップのレベルゲージの上限までオイルがあるか点検してください。(給油キャップはねじ込まず差し込んで確認します。)

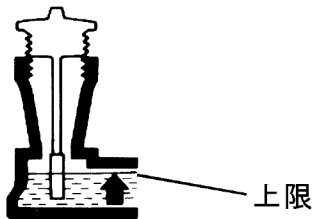
少ないときは、新しいオイルを補給してください。汚れや変色が著しい場合は交換してください。

オイル給油キャップ



### ●オイルの補給

- 1) オイル給油キャップを外し、新しいオイルを上限まで補給します。
- 2) 補給後、オイル給油キャップを確実に取り付けます。



### 重要

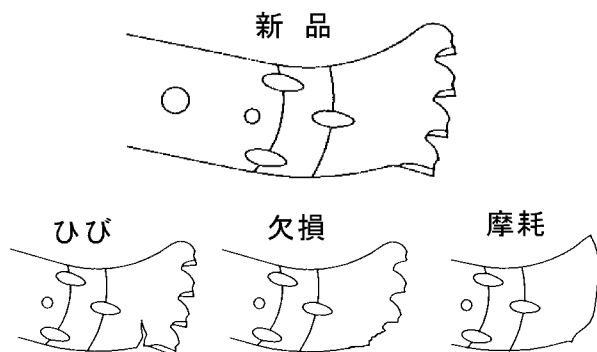
使用オイル：4サイクルガソリン  
エンジンオイル  
SAE10W-30 SE級以上  
オイル容量：0.65リットル

### 刈刃の点検・交換

○使用工具：14ミリメガネレンチ

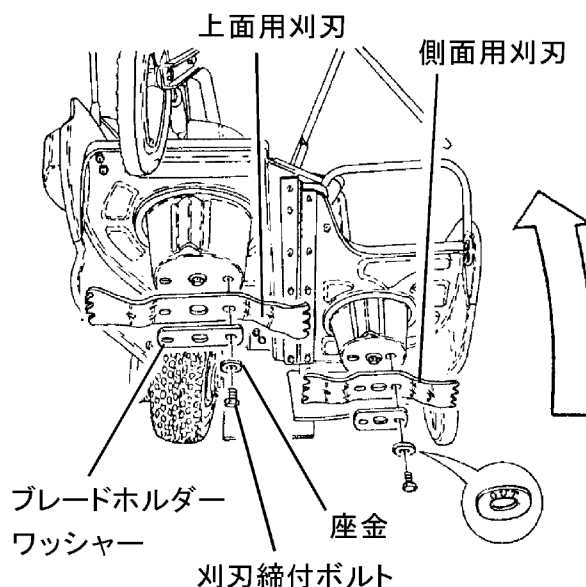
#### ●点検

- 1) 刈刃締付ボルトにゆるみ、脱落、摩耗がないか点検します。  
ゆるんでいる場合：締付けてください。  
脱落している場合：交換し、締付けてください。  
摩耗している場合：交換し、締付けてください。
- 2) 刈刃にひび、摩耗、欠損がないか点検します。  
ひび、摩耗、欠損があった場合には刈刃を交換してください。



### ●交換

- 1) 補助者に、ハンドルを押し下げて前輪を上げしっかりと固定してもらう。
- 2) 丈夫な革手袋を装着し、刈刃を回らないように押え、刈刃締付ボルトを反時計方向に回し、刈刃・ブレードホルダーワッシャー・座金を外す。
- 3) 新しい刈刃の穴をネジ穴に合わせる。
- 4) ブレードホルダーワッシャーに座金の“OUT”マークを外側に向けて取り付け、刈刃締付ボルトをねじ込む。
- 5) 刈刃を回らないように押え、刈刃締付ボルトを時計方向に回し、確実に締付ける。



### ⚠ 警告

- ・刈刃の点検・交換は、一人では行わないでください。
- 必ず二人で行いハンドルをしっかり支えてもらい機体前部が落下しないよう注意してください。
- ・刈刃を交換するときは丈夫な革手袋を装着して行ってください。
- ・刈刃に直接触らないで下さい。

**重要**

- ・長時間傾斜させたまま放置しないでください。エンジンの始動性が悪くなる場合があります。
- ・刈刃が摩耗・欠損した状態のまま使用しないでください。  
刈り残しや異常な振動の原因になります。

## ● JA-860HST 用 替刃

| 部 品 番 号                   | 備 考                   |
|---------------------------|-----------------------|
| 3 5 9 0 1 - M 7 5 - 0 0 2 | 上 面 用 刈 刃             |
| 3 5 9 0 3 - M 7 5 - 8 0 1 | フ レート ホルダー<br>ワッシャー A |
| 3 5 9 0 2 - M 7 5 - 0 0 2 | 側 面 用 刈 刃             |
| 3 5 9 0 4 - M 7 5 - 8 0 1 | フ レート ホルダー<br>ワッシャー B |
| 9 0 1 0 5 - 9 6 0 - 0 0 3 | 刈 刃 締 付 ボルト           |
| 9 0 4 8 1 - 4 3 0 - 0 0 0 | 座 金                   |

**各部の清掃点検**

草刈機（特に下記指定箇所）に刈った草やホコリが付着していないか点検してください。  
汚れているときには十分清掃してください。

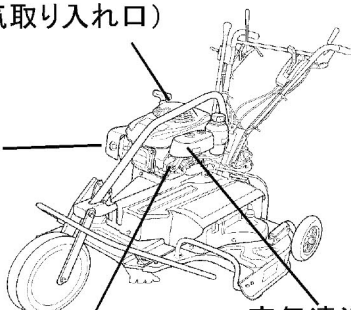
リコイルカバー

（冷却空気取り入れ口）

消音機  
（マフラ）

気化器および  
コントロール廻り

空気清浄機  
（エアクリーナ）  
34ページ参照

**ゴムイタの点検**

○使用工具：10ミリメガネレンチ又はスパナ

**危険**

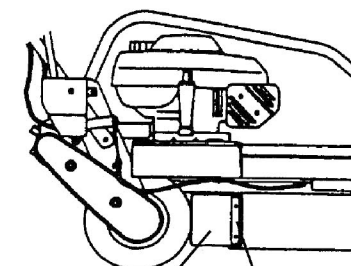
- ・ゴムイタを取り付けない、または損傷したまま作業をしないでください。  
作業時石等が飛び、けがをするおそれがあります。

## ●点検

- 1) 固定ボルトにゆるみがないか点検します。  
ゆるんでいる場合：締付けてください。
- 2) ゴムイタに損傷（深い傷や欠け等）がなく正しく取り付けられているかどうか点検してください。  
損傷があった場合には交換してください。

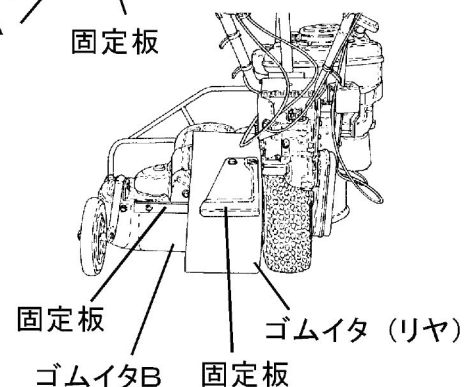
## ●交換

- 1) ゴムイタを固定しているボルト・固定板を外してください。
- 2) 新しいゴムイタを、ボルト・固定板で確実に固定してください。



ゴムイタA

固定板



固定板

ゴムイタB 固定板

ゴムイタ（リヤ）

## ● JA-860HST 用 ゴムイタ

| 部 品 番 号                   | 備 考          |
|---------------------------|--------------|
| 3 8 9 0 1 - M 6 6 - 0 0 0 | ゴ ム イ タ A    |
| 3 8 9 0 2 - M 6 8 - 0 0 2 | ゴ ム イ タ B    |
| 3 8 9 0 3 - M 6 8 - 0 3 1 | ゴ ム イ タ （リヤ） |

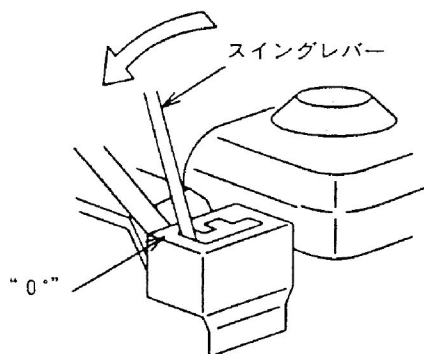
## 5. エンジンの始動・停止のしかた

### ⚠ 警告

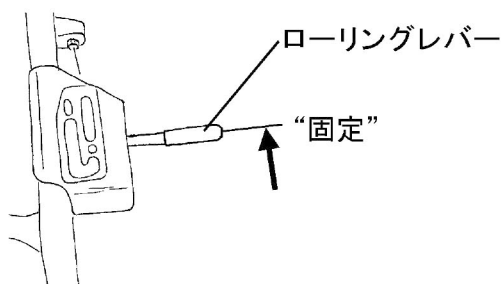
1. エンジンを始動する前に作業前の点検を行ってください。
2. エンジン始動時は、レバー位置と周囲の安全を確認してください。
3. 閉めきった室内ではエンジンを始動しないでください。ガス中毒を起こす危険があります。十分な換気を行うか、風通しのよい屋外で始動してください。

### エンジン始動のしかた

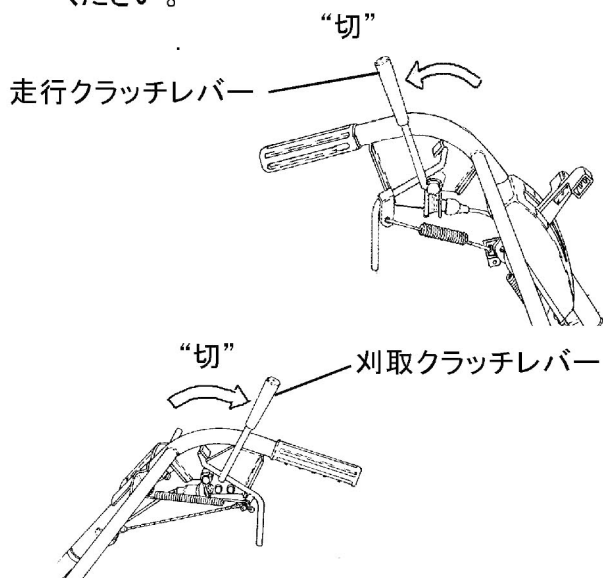
- 1) スイングレバーを“0°”位置にします。



- 2) ローリングレバーを“固定”位置にしてローリングを固定させます。



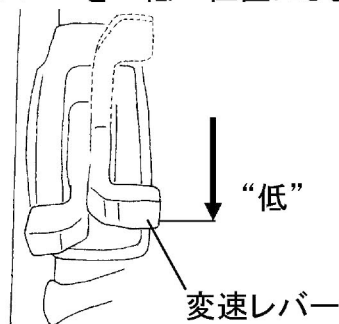
- 3) 走行クラッチレバーと刈取クラッチレバーが“切”位置になっていることを確認してください。



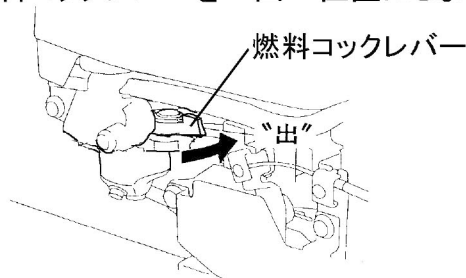
### 確認

本機には始動けん制装置があり、走行クラッチレバーと刈取クラッチレバーが“入”位置にあるとエンジンが始動しません

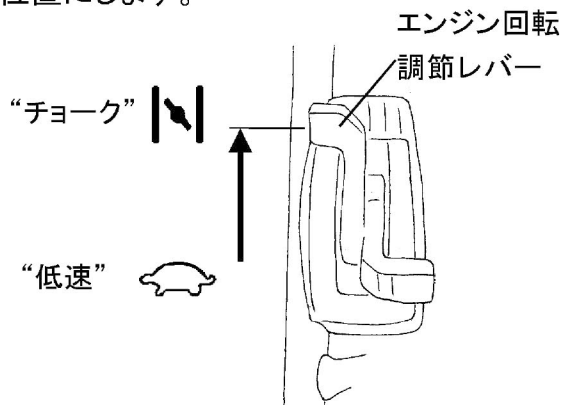
- 4) 変速レバーを“低”位置にします。



- 5) 燃料コックレバーを“出”位置にします。

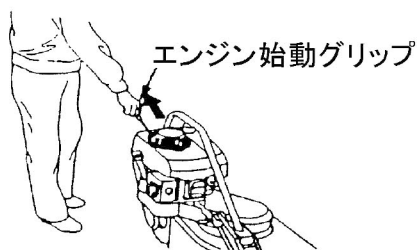


- 6) 寒いときや、エンジンがかかりにくいときはエンジン回転調節レバーを“チョーク”位置にします。エンジンが温まっているとき、または気温が高いときは“低速”の位置にします。



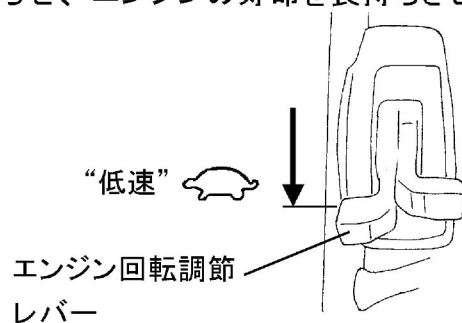
7) エンジン始動グリップを重くなる位置まで引き、そこから勢いよく引きます。

- ・エンジンの始動は、草刈機が安定する平坦な場所で行ってください。
- ・草刈機が転倒しないように片手でハンドルを支えてください。



8) 2～3分暖機運転を行います。

“チョーク”位置で始動したときは、エンジン回転が安定するのを確認しながら、“低速”位置に合わせます。暖機運転を行うことは、エンジン各部にオイルを行きわたらせ、エンジンの寿命を長持ちさせます。



### ⚠ 注意

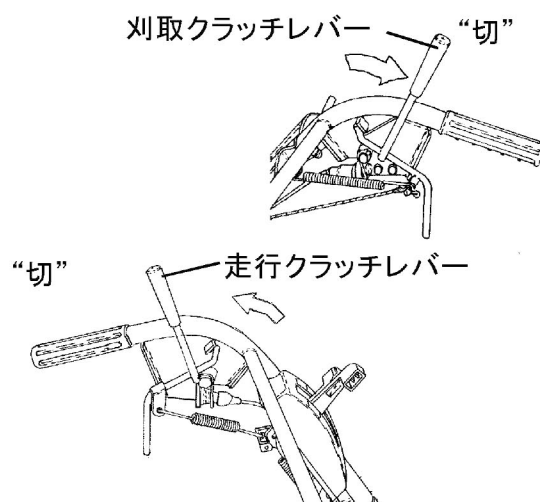
- ・エンジンの始動は草刈機が安定する平坦な場所で行ってください。
- ・エンジン始動時エンジン始動グリップを引くときは、後方に人や物がいないか確認してください。

### 重要

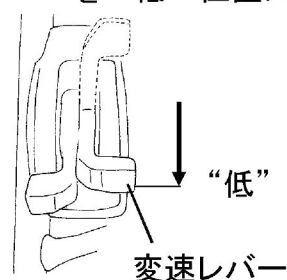
- ・エンジン始動後はすぐに負荷をかけず、必ず暖機運転を行ってください。
- ・運転中はエンジン始動グリップに手を触れないでください。エンジンに悪影響を与えます。
- ・エンジン始動グリップは手を添えて静かに戻してください。

## エンジン停止のしかた

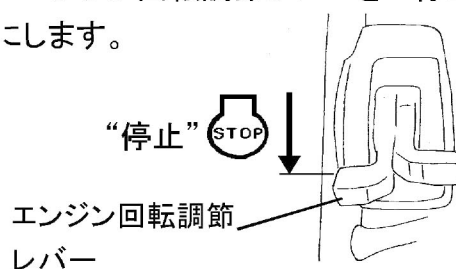
1) 刈取クラッチレバー、走行クラッチレバーを“切”位置にします。



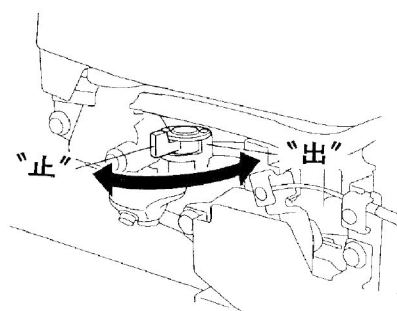
2) 変速レバーを“低”位置にします。



3) エンジン回転調節レバーを“停止”位置にします。



4) 燃料コックレバーを“止”位置にします。



### 重要

エンジンの停止は草刈機が安定する平坦な場所で行ってください。

## 6. 運転操作のしかた

各レバーの操作方法については「3. 操作レバー関係の取扱い要領」（16～20ページ）を参照して下さい。

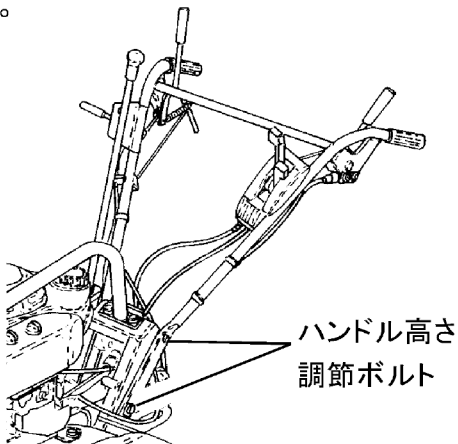
### ハンドル高さ調節のしかた

○使用工具：14ミリメガネレンチ又はスパナ

#### ⚠ 注意

ハンドル高さ調節は、必ずエンジンを停止してから行ってください。

ハンドル高さは2段階に調節することができます。作業者に合わせて調節してください。調整はハンドル高さ調節ボルト4本を使っておこないます。調節後は確実に締めつけてください。



### 発進のしかた

#### ⚠ 危険

・移動時は必ず刈取クラッチレバーを「切」位置にしてください。

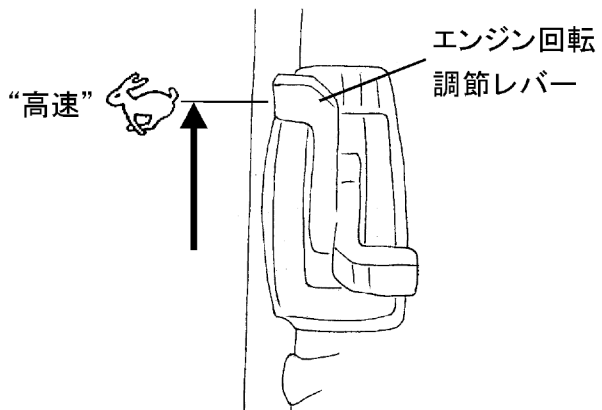
#### ⚠ 警告

・発進時は周囲の安全を確かめて発進してください。

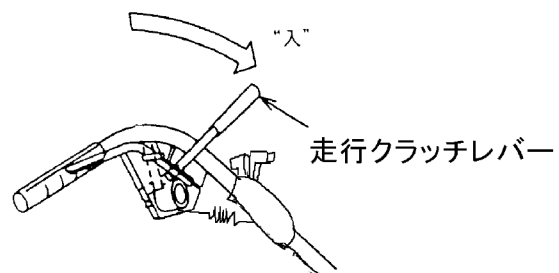
1) エンジンを始動します。

「5. エンジンの始動・停止のしかた」（24～25ページ）を参照してください。

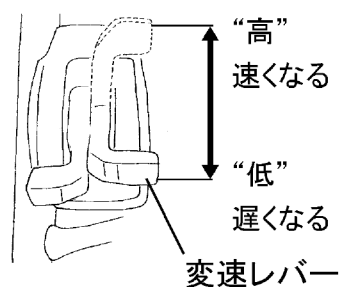
2) エンジン回転調節レバーを”高速”側に動かし、エンジン回転を上げます。



3) 走行クラッチレバーを”入”位置にします。

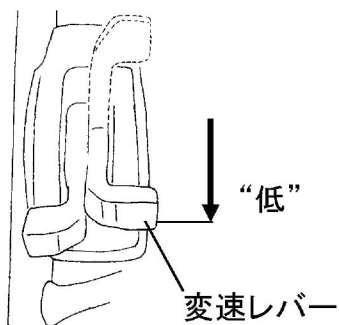


4) 変速レバーを任意の位置までゆっくりと動かします。

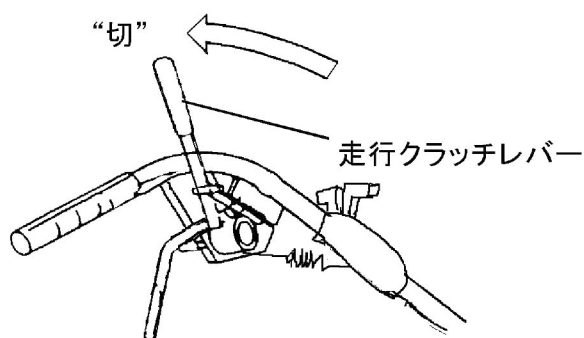


### 停止のしかた

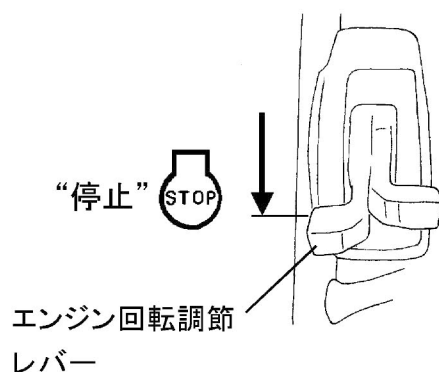
- 1) 変速レバーを”低”位置にします。



- 2) 走行クラッチレバーを”切”位置にします。



- 3) エンジン回転調節レバーを”低速”側に戻してエンジン回転を下げます。

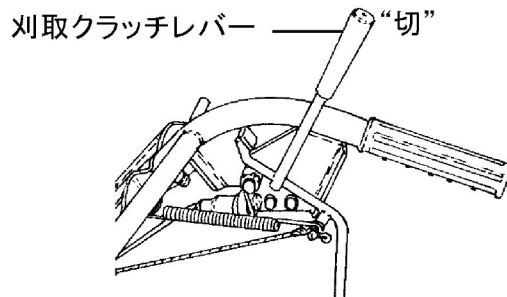


- 4) エンジンを停止します。

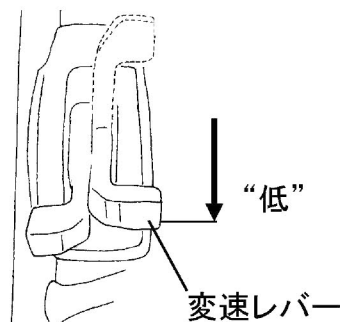
「5. エンジンの始動・停止のしかた」  
(24～25ページ)を参照してください。

### 移動・旋回のしかた

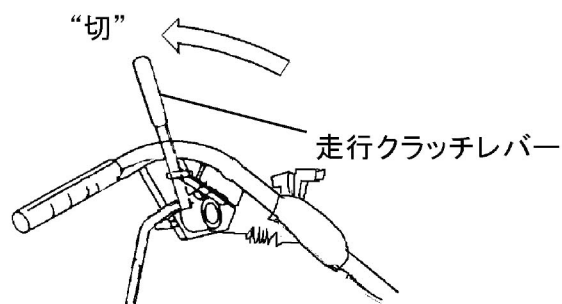
- 1) 刈取クラッチレバーを”切”位置にします。



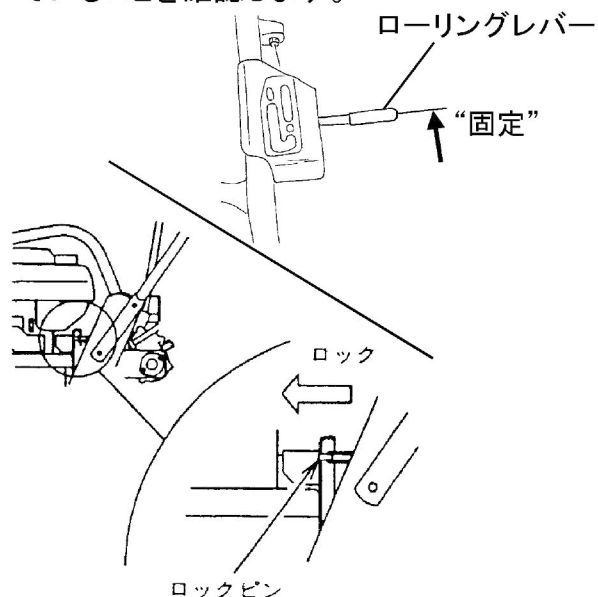
- 2) 変速レバーを”低”位置にします。



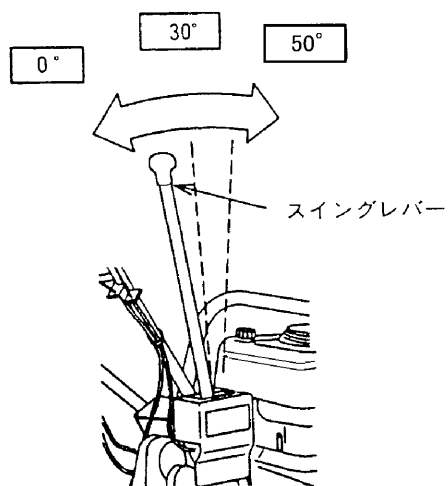
- 3) 走行クラッチレバーを”切”位置にします。



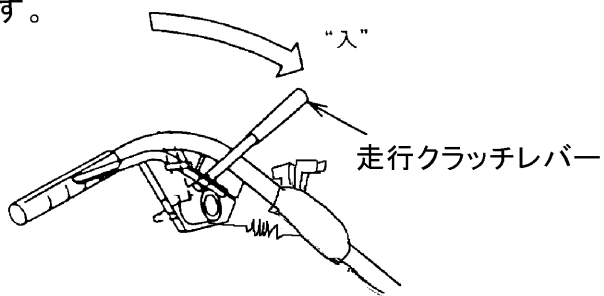
- 4) ローリングレバーを”固定”位置にし、ハンドルを左右に軽く振って刈取部が固定されていることを確認します。



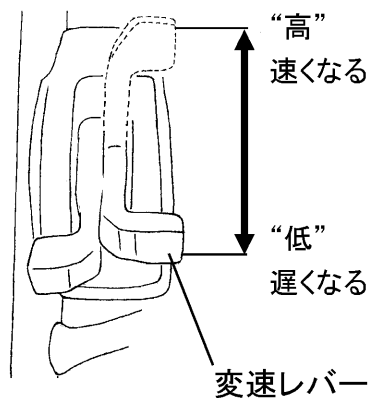
5) スイングレバーを“0°”位置にします。



6) 走行クラッチレバーを“入”位置にします。



7) 変速レバーをゆっくりと任意の位置まで動かします。



8) 旋回時はハンドルを手で押し下げ、前輪を浮かせ、側面用後輪タイヤが地面から離れた状態で行ってください。

### 注意

- ・ 旋回時は低速の状態でハンドルをしっかり持って慎重に行ってください。

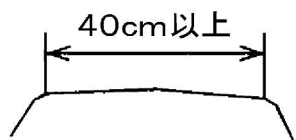
### 重要

- ・ 前輪または、側面用後部車輪が地面についた状態で旋回すると、前輪・側面用後部後輪あるいはアームが破損するおそれがあります。

## 刈取り作業のしかた

### ⚠ 警告

- ・刈取り作業は天場（畦の上面の幅）が40cm以上のところで行ってください。



- ・畦には境界線や測定用の杭を打ち込んでいるところがあります。あらかじめ位置を確認し、刈取り作業時はその場所を避けてください。作業中にぶつくと重大な事故の原因になります。

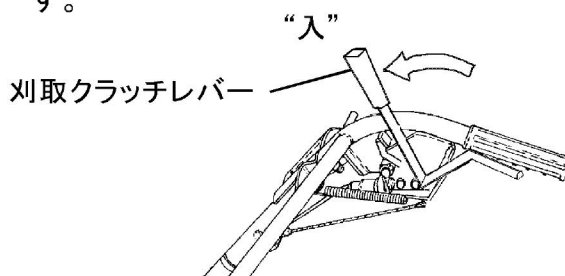
- 1) 刈取り高さを調節します。
  - ・作業条件に合わせて刈高さ調節レバーと刈高さ調節ピンで調節します。操作方法は「3. 操作レバー関係の取扱い要領」（16～20ページ）を参照してください。
  - ・畦の土を削らないよう、また、草丈によって調節してください。

### ⚠ 注意

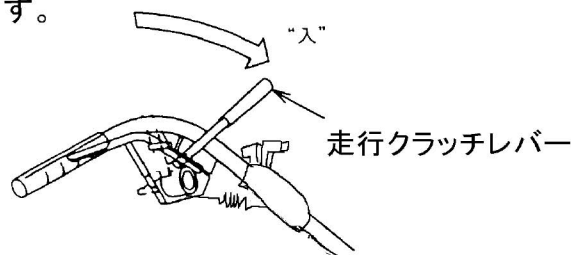
- ・必ずエンジンを止めて調節を行ってください。
- ・上面用前輪タイヤが地面についている状態で高さ調節を行うと、本機の重みで急に最下段まで下がり危険です。必ずバランスパイプを持ち上げてから行ってください。指がはさまれるおそれがあります。

- 2) 作業条件に合わせてローリングレバーとスイングレバーで刈取部を調節してください。操作方法は「3. 操作レバー関係の取扱い要領」（16～20ページ）を参照してください。

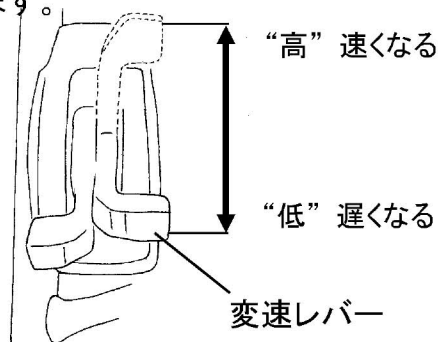
- 3) 刈取クラッチレバーを“入”位置にします。



- 4) 走行クラッチレバーを“入”位置にします。



- 5) 変速レバーをゆっくりと任意の位置まで動かします。



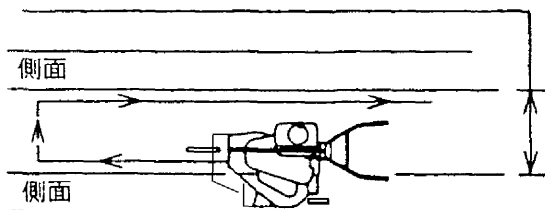
## 刈取り作業のポイント

- ・刈取り作業はエンジン回転を落さずに行うことが重要です。次の要領を参考にして、草の種類、草地条件に適した刈りかたをしてください。
- 柔らかい密生した草等で作業中にエンジン回転数が下がる時には、次のいずれかの方法により作業を行ってください。
  - ・変速レバーを“低”位置にし、エンジン回転数の回復後、変速レバーを元の位置に戻して再度作業を行う。
  - ・エンジン回転が低下しない車速で作業を行う。
  - ・草の条件に応じて刈幅を狭める。
  - ・刈取り高さを高くする。

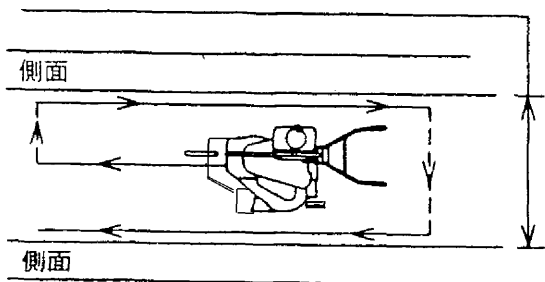
### ●刈取りパターン

刈取った草は本機後輪タイヤ左側（刈取部中央）に放出されます。草が水田に入らないように下記のように刈取ってください。

#### ★畦の天場巾が狭いとき



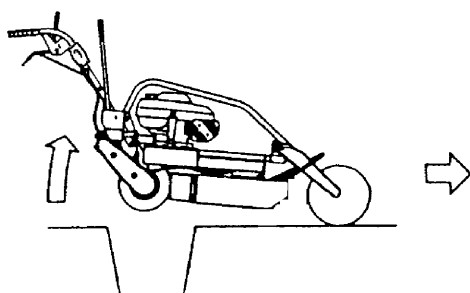
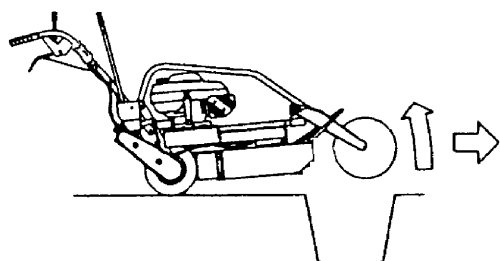
#### ★畦の天場巾が広いとき



### ●取水口の通過

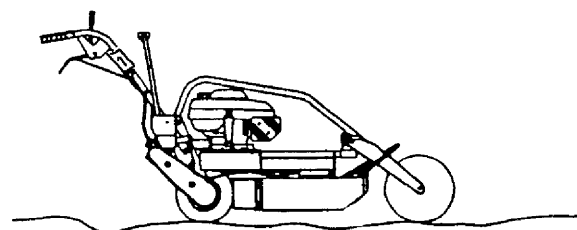
取水口を通過するときは刈取クラッチレバーと走行クラッチレバーを“切”位置にして、手押しで前輪を持ち上げて移動し、次に後輪を持ち上げて通過してください。

このときローリングレバーは“固定”位置、スイングレバーは“0°”位置にしてください。



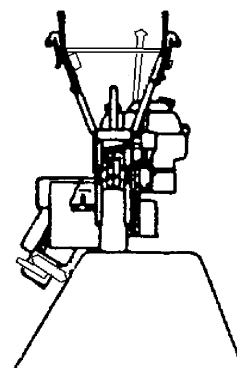
### ●起伏

起伏の多いところでの刈取りは変速レバーを“低”側にし、足もとに注意してハンドルをしっかりと持ち、作業してください。



### ●狭い場所での安定走行の要領

畦等の狭い場所では本機（ハンドル）を軽く左右に振ると安定した走行が得られます。



### ⚠ 注意

- ・運転操作をする場合は、足もとに注意してハンドルをしっかりと持ち、転倒・転落に注意してください。

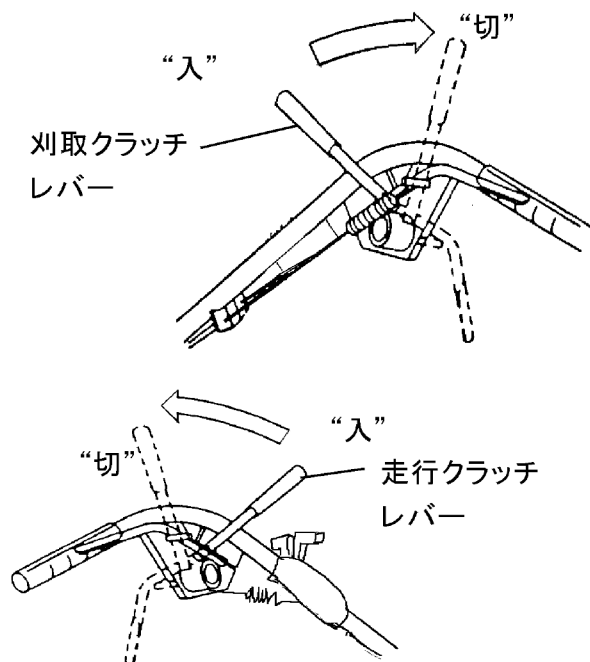
### 重要

- ・後輪につる草や異物（布、ロープ、針金等）が巻き付いた場合は、直ちに刈取クラッチレバーと走行クラッチレバーを“切”位置にし、エンジン回転調節レバーを“停止”位置にして作業を中止してください。エンジンを停止してつる草や異物を取り除いてください。そのまま走行を続けると本機を破損する原因になります。

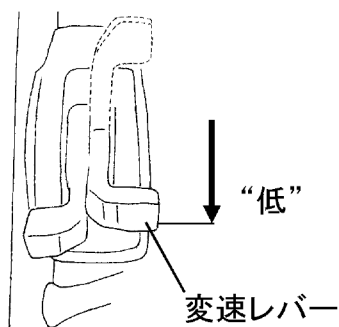
## 7. 草刈機のとめかた

草刈機をとめておくときは、平坦で安定した場所においてください。

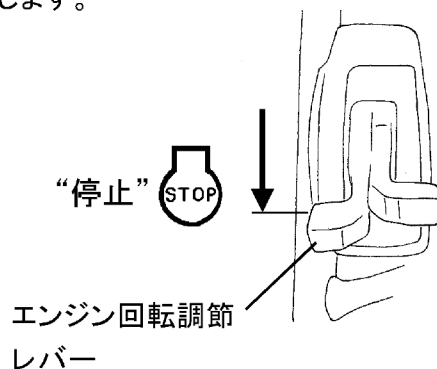
- 1) 走行クラッチレバーと刈取クラッチレバーを“切”位置にします。



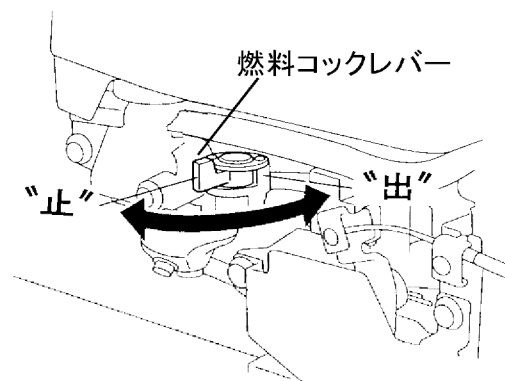
- 2) 変速レバーを“低”位置にします。



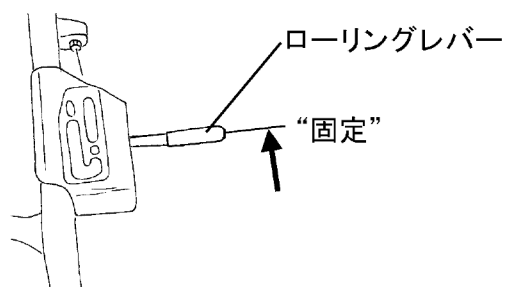
- 3) エンジン回転調節レバーを“停止”位置にします。



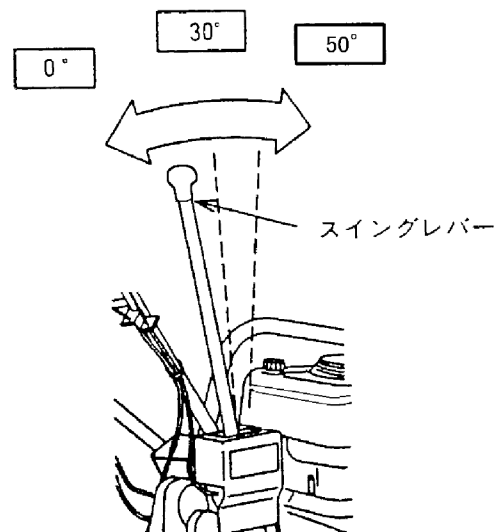
- 4) 燃料コックレバーを“止”位置にします。



- 5) ローリングレバーを“固定”位置にします。ハンドルを左右に軽く振って刈取部が固定されていることを確認してください。



- 6) スイングレバーを“0°”位置にします。



## 8. 定期点検

### 定期点検

この取扱説明書に記載されている、お客様ご自身で行っていただける点検・整備項目の他に、お買い上げいただいた販売店で定期的を実施していただく項目があります。お買い上げいただいた草刈機を調子よく、長持ちさせるために定期点検を受けてください。

#### 警告

- ・点検、整備を行うときは、必ず平坦なところでエンジンを停止してから行ってください。
- ・燃料補給時は火気厳禁です。燃料補給後は燃料給油キャップを確実に閉め、燃料タンクや燃料パイプ等からの燃料もれがないか点検してください。守らないと火災事故の原因になります。
- ・エンジンの熱い間は、点検、整備等は絶対にしないで下さい。ヤケドをするおそれがあります。
- ・点検、整備、清掃などで取り外したカバー類は、必ず元の位置に取り付けてください。

| 項 目                                       | 毎日<br>(作業前) | 20時間<br>(初回) | 50時間毎<br>(又は年1回) | 100時間<br>運転毎 | 参照ページ |
|-------------------------------------------|-------------|--------------|------------------|--------------|-------|
| 各部の清掃                                     | ○           |              |                  |              | 23    |
| ゴムイタの点検                                   | ○           |              |                  |              | 23    |
| エンジンオイルの点検                                | ○           |              |                  |              | 21    |
| エンジンオイルの交換                                |             | ○            | ○                |              | 33    |
| エアクリーナの点検                                 | ○           |              |                  |              | 34    |
| エアクリーナの清掃                                 |             |              | ○                |              | 34    |
| 点火プラグの清掃                                  |             |              |                  | ○            | 35    |
| 刈刃締付ボルトのゆるみ点検<br>ブレードホルダ固定ボルトの点検<br>刈刃の点検 | ○           |              |                  |              | 22    |
| ミッションオイルの点検                               |             |              | ○<注1>            |              | —     |
| ベルトの点検                                    |             |              | ○<注1>            |              | —     |
| スロットルワイヤー点検/調整                            |             | ○<注1>        |                  | ○<注1>        | —     |
| 変速レバーケーブル点検/調整                            |             | ○<注1>        |                  | ○<注1>        | —     |
| 刈取クラッチワイヤー点検/調整                           |             | ○<注1>        |                  | ○<注1>        | —     |
| 燃料チューブ交換                                  | 2年毎         |              |                  |              | —     |

(注1) これらの項目は適切な工具と整備技術を必要としますので、お買い上げ販売店にお申しつけください。

#### 取扱いのポイント

- ・交換後のエンジンオイル、ミッションオイル等はゴミの中や地面、排水溝などに捨てないで下さい。処理方法は法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理してください。不明な場合はオイルをお買い上げになったお店にご相談の上、処理してください。

※廃棄物処理法、水質汚濁防止法

## 9. 点検・整備

### エンジンオイルの交換

○使用工具：10ミリメガネレンチ又はスパナ

#### ⚠ 注意

- ・エンジン停止直後は、エンジン本体、油温が高くなっています。エンジンが冷めてからオイル交換を行ってください。やけどをする恐れがあります。

#### 重要

- ・オイルは使用しなくても自然に劣化します定期的に点検・交換を行いましょう。
- ・オイル給油キャップ・オイル排油ボルトは確実に締めつけて下さい。締付けがゆるいとオイルがにじみ出ることがあります。

- ・エンジンオイルが汚れているとエンジンの寿命を著しく縮めます。毎日運転前にエンジンオイルの点検を行ってください。点検方法は「4. 運転前の準備・点検」(21～23ページ)を参照してください。

#### ●交換時期

初回20時間使用後、以後50時間又は刈取り時期初め

#### 重要

使用オイル：4サイクルガソリン

エンジンオイル

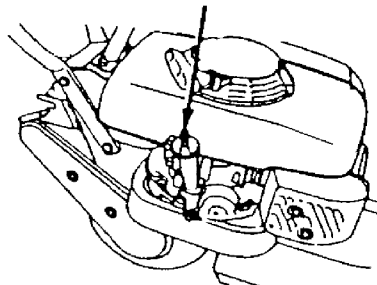
SAE10W-30 SE級以上

オイル容量：0.65リットル

#### ●交換のしかた

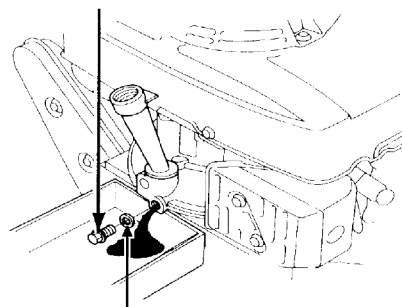
- 1) オイル給油キャップを外します。

オイル給油キャップ



- 2) オイル排油ボルトを外して、エンジンオイルを抜きます。完全に抜けたら新品のシーリングワッシャーを組み付け、オイル排油ボルトを確実に締めつけてください。

オイル排油ボルト

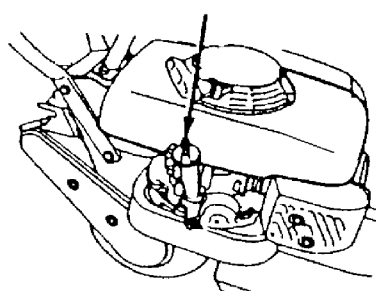


シーリングワッシャー

部品番号：90601-ZE1-000

- 3) エンジンオイルをオイル給油キャップのレベルゲージで確認しながら上限まで注入します。(給油キャップはねじ込まず差し込んで確認します)
- 4) 注入後、オイル給油キャップを手で確実に締め付けます。

オイル給油キャップ



## 空気清浄機（エアクリーナ）の 点検・清掃

空気清浄機が汚れにより目詰まりをすると、出力不足や燃料消費が多くなるので定期的に清掃してください

### ●点検のしかた

- 1) チョウナットを外し、エアクリーナカバーを外します。
- 2) ろ過部（ウレタン、紙）の汚れを点検します。
- 3) ゴミやチリが付着していたら、ろ過部の清掃を行ってください。

### ●清掃時期

50時間運転毎

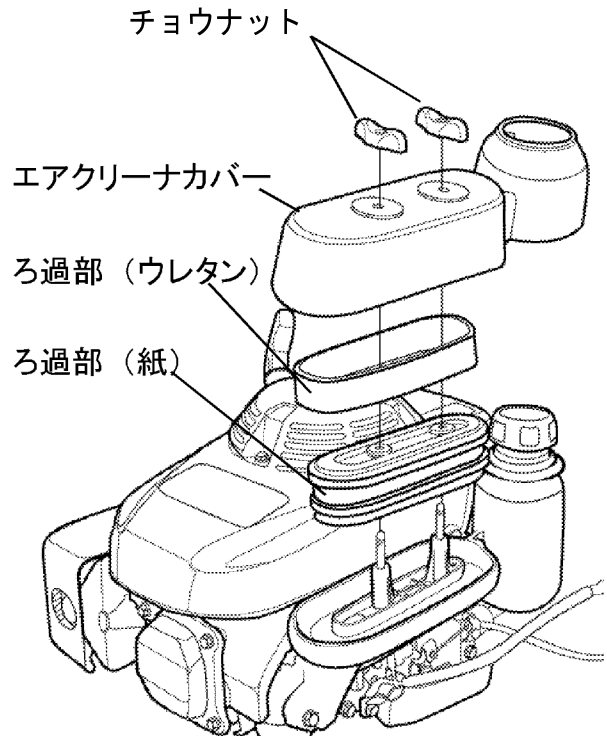
ホコリの多いところで使用した場合は1日1回または10時間毎

### ●清掃のしかた

- 1) チョウナットを外し、エアクリーナカバーを外します。
- 2) ウレタンのろ過部は中性洗剤を水で薄めて洗い、さらに水ですすいでから圧縮空気を吹き付けるか、又はよく絞って乾かします。次にエンジンオイルに浸した後固く絞ってから取り付けます。
- 3) 紙のろ過部は内側から圧縮空気を吹き付けるか、又は軽くたたいて汚れを落します。汚れがひどい場合は交換してください。

## 重要

- ・エアクリーナカバーの締め付けは確実に行ってください。締め付けが悪いと振動でカバーが外れることがあります。
- ・エアクリーナカバーやろ過部を正しく取付けないと、エンジンに悪影響を与える原因になります。



### ●JA-860HST 用 エアクリーナろ過部

| 部品番号          | 備考         |
|---------------|------------|
| 17210-Z1V-003 | 紙+ウレタン セット |
| 17218-888-003 | ウレタンのみ     |

## 点火プラグの点検・清掃

○使用工具：プラグレンチ

### ⚠ 注意

- ・エンジン停止直後は、エンジン本体、油温が高くなっていますので、エンジンが冷めてから作業を行ってください。やけどをする恐れがあります。

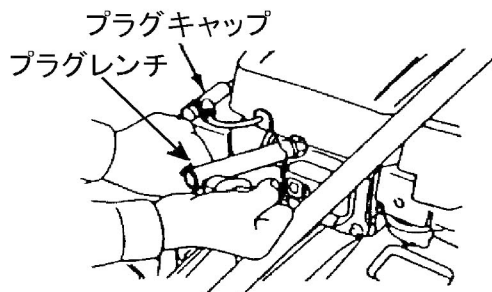
電極が汚れたり、電極すきまが不相当だと、完全な火花が飛ばなくなりエンジン不調の原因になりますので定期的に清掃してください

### ●清掃時期

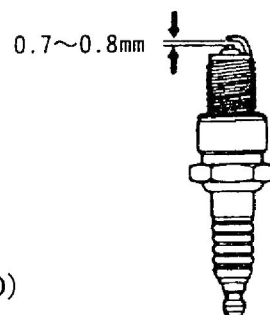
100時間運転毎

### ●清掃のしかた

- 1) プラグキャップを外します。
- 2) プラグレンチで点火プラグを外します。



- 3) プラグクリーナを使用し、点火プラグを清掃するのがもっともよい方法です。  
お買い上げの販売店をご利用ください。
- ・プラグクリーナーがないときはワイヤブラシで汚れを落としてください。
- ・プラグの点火すき間は0.7 mm ~ 0.8 mm (官製はがき約2枚分) です。すきまが広くなった場合には、別記の標準プラグに交換してください。  
交換はお買い上げ販売店にご依頼ください
- 4) 清掃後、点火プラグを取り付けたあと、プラグキャップを確実に押し込んでください



### ＜標準プラグ＞

BPR5ES(NGK)

W16EPR-U(DENSO)

### 重要

- ・標準以外のプラグを使用しないでください。
- ・プラグの取り付けは、ネジ山をこわさないように、はじめに指で軽くねじ込み、つぎにプラグレンチで確実に締めつけて下さい。

# 10. 長時間使用しないときの手入れ

長時間運転しない場合、または作業を終わり長時間格納する場合は次の手入れを行ってください。

エンジンを停止し、万が一始動を防ぐため点火プラグキャップを点火プラグから外してください。

- 1) 燃料タンク、気化器内のガソリンを抜いてください。

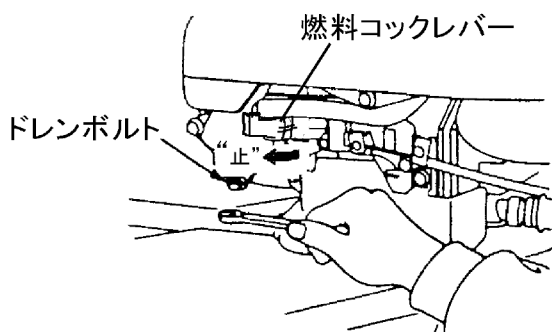
## 警告

- ・ 燃料を抜くときは火気厳禁。
- ・ 風通しのよい場所で行ってください。

○使用工具：10ミリメガネレンチ又はスパナ

### ●ガソリンの抜き方

- 1) 燃料タンクキャップを取外し、タンク内のガソリンを容器に受けてください。抜き終わったら燃料タンクキャップを閉めてください。
- 2) 気化器内のガソリンは燃料コックレバーを“出”位置にしてドレンボルトをゆるめ、ガソリンを容器に受けてください。
- 3) 完全に燃料が抜けたらドレンボルトを元の状態に戻し確実に締付け、燃料コックレバーを“止”位置にしてください。



## 取扱いのポイント

- ・ 抜いた燃料は専用容器にうつして、涼しい場所で保管してください。

- 2) 空気清浄器（エアクリーナ）を清掃してください。清掃のしかたは「9. 点検・清掃」（33～35ページ）を参照してください。

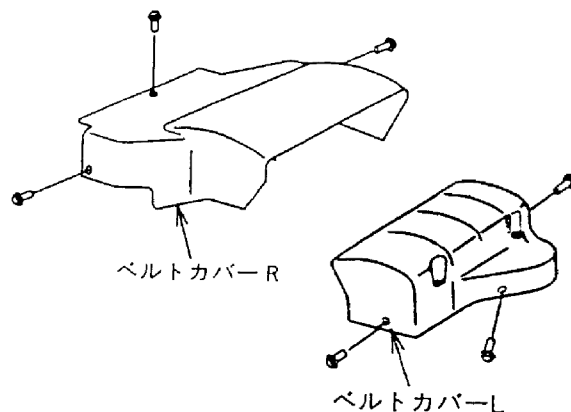
- 3) ベルトカバー内部に溜まったゴミなどを清掃してください。

○使用工具：10ミリメガネレンチ又はスパナ

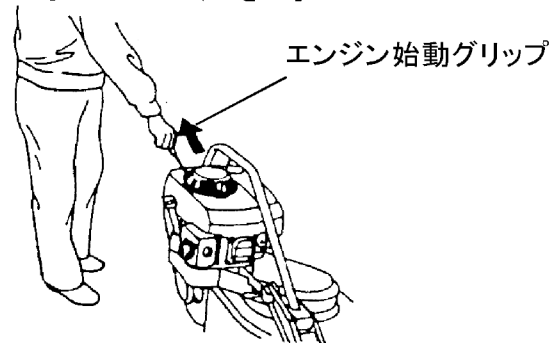
### ●カバーの付け方・はずしかた

ベルトカバーL、ベルトカバーRそれぞれ3ヶ所のフランジボルトをはずします。

始めにベルトカバーRをはずし、次にベルトカバーLをはずします。取り付けは、その逆です。



- 4) 刈刃及び各部の点検・清掃をしてください。
- 5) 刈刃のサビを防止するため、刈刃にオイルを塗布してください。
- 6) エンジン始動グリップを引き、重くなったところで止めてください。

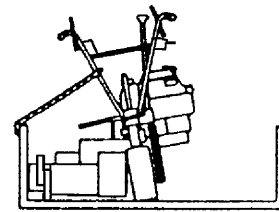
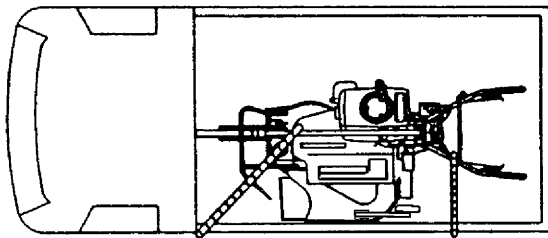


- 7) 屋根のある場所に保管してください。

# 1 1 . 車への積載の場合

- トラックへの積み込み・積み降ろし作業の注意項目については「安全に作業するために」の「輸送時の注意項目」(6～8ページ)を参照し、安全に注意し慎重に行ってください。
- 各レバーの操作方法については「3. 操作レバー関係の取扱い要領」(16～20ページ)を参照して下さい。

- 1) 車にアユミ板を2枚並べてかけてください。
- 2) ローリングレバーを“固定”位置にしてください。
- 3) スイングレバーを“0°”位置にしてください。
- 4) エンジン回転は、“低速”位置にしてください。
- 5) 走行クラッチレバーを“入”位置にしてください。
- 6) 変速レバーは低側にし、ハンドルをしっかりとって慎重に、前進で積み込み・積み降ろし作業をしてください。
- 7) 本機を荷台左側に寄せ、前方につき当てて、図のようにハンドルとバランスパイプにロープをかけて本機を車へ固定してください。  
(本機が移動しない程度に軽くロープで固定してください)



# 1 2 . 故障のときは

むやみに分解しないで、お早めにお買い上げの販売店へ点検整備を依頼してください。

エンジンが始動しないときは下記の点検を行ってください。

- 1) エンジン回転調節レバーが“停止”位置になっていませんか。
- 2) 走行クラッチレバー・刈取クラッチレバーは“切”位置にありますか。
- 3) 燃料コックレバーは“出”位置にありますか。  
⇒「3. 操作レバー関係の取扱い要領」(16～20ページ) 参照
- 4) ガソリンはありますか。
- 5) エンジンオイルは規定量ありますか。  
⇒「4. 運転前の準備・点検」(21～23ページ) 参照
- 6) 点火プラグキャップは確実に押し込んでありますか。  
⇒「9. 点検・整備」(32～35ページ) 参照

## ⚠ 注意

- ・点検は風通しのよい場所で行ってください。
- ・火気を近づけないでください。

# 13. 主要諸元

|          |                 |                               |
|----------|-----------------|-------------------------------|
| 名称 (タイプ) |                 | ローリングモア「あぜみち」                 |
| 型 式 名    |                 | J A-8 6 0 H S T               |
|          |                 |                               |
| 項 目      | 単位              | 諸 元                           |
| エンジン     | —               | ホンダ GXV160H2                  |
| 形 式      | —               | 単気筒、4サイクル、頭上弁式                |
| 最大出力     | kW(PS)/rpm      | * 3.2 (4.4) / 3600            |
| 排 気 量    | cm <sup>3</sup> | 163                           |
| 内径 X 行程  | mm              | 68 X 45                       |
| 点火時期     | —               | 上死点前20度                       |
| 点火方式     | —               | トランジスタ式マグネット点火                |
| オイル容量    | リットル            | 0.65                          |
| 燃料タンク容量  | リットル            | 1.80                          |
| 点火プラグ    | —               | BPR5ES (NGK) W16EPR-U (DENSO) |
| 全 長      | mm              | 1765                          |
| 全 幅      | mm              | 890                           |
| 全 高      | mm              | 1015                          |
| 重 量      | kg              | 乾燥72, 全装備74.5                 |
| 刈 幅      | mm              | 1面刈り: 660<br>2面刈り: 390, 310   |
| 刈高さ      | mm              | 5, 20, 40, 60, 80             |
| 変速段数     | —               | 無段変速                          |
| 車 速      | m/s             | 0~0.75                        |

\*ここに表示したエンジン出力はSAE J1349に準拠して3,600rpm（最大出力）で測定された代表的なエンジンのネット出力値です。

量産エンジンの出力はこの数値と変わる事があります。完成機に搭載された状態での実出力値はエンジン回転数、使用環境、メンテナンス状態やその他の条件により変化します。

※諸元は製品の改良のため予告なく変更する場合がございます。ご了承ください。

# 14. 標準付属品および主要消耗部品

●本機には下記の付属品があります。お買い求めの際お調べください。

| 部品番号          | 品名                   | 個数 |
|---------------|----------------------|----|
| 35901-M75-002 | ブレード390              | 1  |
| 35902-M75-002 | ブレード310              | 1  |
| 91901-M75-031 | 取扱説明書<br>(JA-860HST) | 1  |
|               | 製品保証書<br>安全確認カード     | 1  |

●本機の主要消耗部品

| 部品番号          | 品名              | 備考                        |
|---------------|-----------------|---------------------------|
| 35901-M75-002 | ブレード390         |                           |
| 35903-M75-801 | ブレード 刃ダ-ワッシャー-A | ブレード390用                  |
| 35902-M75-002 | ブレード310         |                           |
| 35904-M75-801 | ブレード 刃ダ-ワッシャー-B | ブレード310用                  |
| 38901-M66-000 | ゴムイタA           |                           |
| 38902-M68-002 | ゴムイタB           |                           |
| 38903-M68-031 | ゴムイタ (リヤ)       |                           |
| 91651-0209044 | VベルトLB44        | エンジン⇒ナイフ390用              |
| 91652-0207047 | VベルトSA47        | ナイフ390⇒カウンター用             |
| 91652-0207044 | VベルトSA44        | カウンター⇒ナイフ310用             |
| 90105-960-003 | 刈刃締付ボルト         |                           |
| 90481-430-000 | 座金              |                           |
| 17210-Z1V-003 | エレメント           | エアクリーナろ過部<br>(紙+ウレタン セット) |
| 17218-888-003 | フィルター           | エアクリーナろ過部<br>(ウレタンのみ)     |

